

令和 7 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 7 年 5 月 21 日(水) 18 時 30 分～20 時 20 分		
開催場所	三保まちづくりセンター	参加人数	3 人
出席議員	西田清久、布施賢司、川上幾雄		
意見	【総務文教委員会】 ・ 防災について 避難看板の設置も必要だが、防災無線の屋外子局について必要箇所の調査と整備が望まれる。設置個所、スピーカーの数や機能（遠距離への到達、広角拡散など） …避難移動時の情報伝達手段として ・ 地域交通について 相乗タクシーの積極的な活用策を行った結果、予算不足が心配されるので予算の増額が望まれる。 ・ 支所等の窓口について 待ち時間が少なくなる手段が望まれる。		
	【福祉環境委員会】 ・ 特定検診について 受診への広報が不足していると感じる。 議会、まちづくり委員会でもアピールすべき。 ・ 带状疱疹ワクチン接種について 該当者年齢を下げることを望まれる。 ・ 医療の県西部における連携はどうなっているか？		
	【産業建設委員会】 ・ 山田川河川監視カメラについて 現状地より下流の、合流全体が監視できる場所へ。 ・ 神楽衣装について後継者育成に力を入れるべき。 ・ 漁獲高、荷捌所について 山陰沖での漁を広域的に集荷し、市内での活用策（食事のできる施設を整備）の検討が望まれる。 ・ 米価対策について…市としての対応が望まれる。		

今回の会では、昭和 58 年災害の実体験からの防災に対する実現可能な施策が出てきた。議会としても現場に足を運び確認する必要がある。

令和 7 年 5 月 23 日 川上 幾雄